日常のレクリエーション風景

～5・6月中の個別・グループレクリエーションのご紹介～

2･3階内科病棟では、レクワーカーが各病棟のデイルームにてグループレクリエーションを実施しています。また、お一人おひとりへお好きなものや季節の話題等をベッドでもお楽しみいただけますよう、患者様方のお部屋へお伺いし、個別にレクリエーションも実施しております。今回は 2025 年 5 月～6 月中のレクリエーションにおける、患者様方との活動風景の一部をご紹介いたします。

個別レクリエーションでは、折り紙ボランティアの福原春様に寄贈いただいた『錦鯉』と『紫陽花』の折り紙パーツを用いて共同制作を行いました。お好きな紫陽花の色を伺い、レクワーカーもお手伝いしながらお一人一輪ずつ作成。制作の合間には、ご自宅に植えられていた紫陽花や、旅行先でご覧になられた風景等、思い出をお話しくださる方もいらっしゃいました。完成しました作品は6月2日より当院ロビーに飾らせていただいております。（6月末頃まで掲示予定）

『6月6日の6歳から芸事を始めると上達する』という慣習をご存知でしょうか。グループレクリエーションではその習わしにちなんで『習い事』をテーマに活動を行いました。寄贈いただいた絵画の雑誌『一枚の繪』から様々な絵画をご紹介では、絵を描くことがご趣味だった女性患者様からは「綺麗ね！」とのお声と共にじっと力強い眼差しで鑑賞されるお姿が印象的。また、今回は雑誌の絵から抜粋し、パリの街並みや湖畔、からぶき屋根の家等を描いた作品をご紹介しながら、レクワーカーがアコーディオンにてその絵から連想する曲として『スタイルミュゼット』、『湖畔の宿』、『故郷』を演奏。有難くも拍手を頂戴し、沸き起こるように「私、昔はお琴をやってたのよ。」「楽器はやっぱりいいね。」「夏は野球、冬はコーラスやってたよ。」など様々なお声も上がり、大変盛り上がりました。（『一枚の繪』は個別レクリエーションでもご紹介いたしました！）
季節の生花もご紹介し、地域の方にお裾分けいただきましたキンシバイの花には「私も家で植えてたわ。」「生け花をやっていたのよ、私。師範代まで。」と懐かしそうにお話される方もいらっしゃいました。
多くの方がされた様々なご経験の中から、時には私達にも貴重なお話をお聞かせいただくこともあり、大変嬉しく感じております。これからも様々な形で皆様にお好きだったものをご紹介できますよう、企画して参ります。